

このほか、教育行政について、次年度予算編成方針について質問をしています。

赤澤 康宏

来年度からの清音地区の方針について

●高齢者タクシース券について、いろいろな意見を聞く。内容や状況をよく把握し、本当に困っている方への高齢者タクシース券の発行はできないか。

▲来年度から防犯灯の電気が各地区の負担となるが、通学、通勤路の電気代を市が払う考えはないか。

◆倉敷く清音循環線のバスが廃線となったが、清音地区の公共交通機関の代替手段についての考えはどうか。

●清音地区には区長制度があるが、合併協議により来年度から廃止となる。区長制度を見直す中で、土木担当員制度等を改良し、負担のない移行ができないか。

●高齢者タクシース券についてはいろいろなお問い合わせがある。今後、

対象のあり方について検討をしていきたい。困っている方に少しでも光が当たるように制度改革を検討していきたい。

▲幹線道路を除く防犯灯については、市から補助金を交付し、町内会で設置及び維持管理をお願いしている。また、幹線道路については市の負担としている。今後、地域における防犯対策の一環として取り組みをお願いしたい。

◆清音地区にはJR清音駅があり、また矢掛く倉敷線のバスもあることから、当面これらで対応していきたい。

●区長制度は、長年にわたり清音地域の住民自治の発展に多大な影響を与えてきた制度であり、この存続については清音まちづくり協議会で協議を行っていただいていいる。新たな自治組織の長と土木担当員の兼務は可能であるので、地域住民で検討をお願いしたい。

このほか、各消防分団の訓練場の格差について質問

や働きかけについて検討していきたい。(市長)

このほか、消防行政について、中・高生の放課後の居場所について質問をしています。

根馬 和子

合併協定の進捗状況について

●合併後、地域住民の声を反映するまちづくり協議会が設置されたが、合併協議で合意し、要請している事案に意見を述べても、いまだ何の回答も

をしています。

津神 謙太郎

市長の公約について

●最近、全国各地で子どもたちが被害に遭う事件が多発しているが、子どもたちに対する安全・安心についての考えはどうか。また、保護者や子どもたちの目線で各学校毎に作成された安全マップをどのように活用しているのか。



安全マップ

●通学路の整備や防犯灯など、身近なものとのあわせながら、子どもの安全・安心対策を具体的に進めたい。解決できる危険箇所も多くあることから、市内部で横断的に問題点を精査し、1つずつ減らしていく努力をしていきたい。

▲県立博物館の誘致について現在様々な団体が努力をして

るが、官民を挙げた粘り強い要望活動のもと、市民全体で誘致に取り組んでいきたい。

●これまでも様々な取り組みを行ってきたが、本年度は登下校時の安全管理の徹底、安全教育の推進、不審者等に関する情報共有の強化に重点を置いて取り組んでいる。今後とも、学校、家庭、地域、関係機関との連携を一層図り、子どもの安全確保に努めていきたい。(教育長)

●取り組みを行ってきたが、本年度は登下校時の安全管理の徹底、安全教育の推進、不審者等に関する情報共有の強化に重点を置いて取り組んでいる。今後とも、学校、家庭、地域、関係機関との連携を一層図り、子どもの安全確保に努めていきたい。(教育長)

頓宮 美津子

福祉行政について

●現在、山手と清音でつどいの広場事業が行われているが、非常に好評で、多数の参加がある。本来は中学校区に1カ所の実施予定であり、また場所的にも非常に偏りがあるが、新たな施設は財政的に難しいと思われる。津山市がアールネットという場所で試験的に実施した赤ちゃん広場事業を参考に、商業施設の一画を借りて乳幼児の触れ合い

拠点を作ってはどうか。

●現在、山手と清音の2カ所で実施しているが、次世代育成支援行動計画において、平成21年度までに市内4カ所に設置を計画して、地域的なパランスなどを考慮しながら検討していきたい。小学6年生までの医療費の無料化と合わせて、本市のセールスポイントとして伸ばしていきたい。(市長)

ドッグランについて

●本市でもかなりの犬の登録があり、以前からドッグランを設置してほしいという声がある。新たな場所を設置すれば人件費がかかるので、管理者がいる場所を考えても十分候補地はあると思う。試験的に実施してみてもどうか。

●本市では約3200頭の犬が飼育されており、犬の散歩が人間の健康管理などに大きく寄与している。今後は、動物愛護の観点からも、開設希望者の把握や民間活用も含めた設置、運営の方法の模索



合併協定書

ない状況である。ケーブルテレビの整備は遅れ、歴史民族資料館の計画もいまだ見えない現状を市長はどのように理解しているか。

●合併協定書の協定期限や方針を定め、それにより事務事業を進めている。現在、それぞれの担当課で期限や方針などの調整を進めており、これにより発生する市民負担やサービス内容の変更については説明が不十分とならないようにお知らせをしていきたい。合併後いろいろな意見や課題があると思うが、まちづくり協議会で意見を受けなが

どうか。長年通学路の危険箇所が改善されていない場所が多くあるが、安全対策をどのように行っていくのか。

●本市には多くの文化遺産があり、多くの観光客が本市を訪れている。県立博物館を誘致することで、吉備文化の情報発信の拠点となり、多くの人との交流の輪が広がり、さらに活気あるまちになると考えるが、県立博物館の誘致をどのように考えているか。

●通学路の整備や防犯灯など、身近なものとのあわせながら、子どもの安全・安心対策を具体的に進めたい。解決できる危険箇所も多くあることから、市内部で横断的に問題点を精査し、1つずつ減らしていく努力をしていきたい。

ら、今後のあり方を考えていきたい。山手地域が持っていた独自性にも配慮しながら、合併してよかつたというまちをつくらしていきたい。(市長)

教育行政について

●今年は今までに経験したことがない異常な暑さであった。また、最近の紫外線は人体に与える危険度が増していると言われ、UVBの地上照射も強力となっている。学校における暑さ、紫外線対策はどのように考えているか。

●紫外線対策については、活動前後の健康観察の実施、脱水状態の予防と適量の水分補給、活動の仕方の工夫、帽子の着用と日陰での休憩に努めた。今後は日よけ用ネットや各教室への扇風機を設置等を初めとして、各校・園長の意見を聞きながら対応をしていきたい。(教育長)

このほか、地域密着主義について質問をしています。

るが、官民を挙げた粘り強い要望活動のもと、市民全体で誘致に取り組んでいきたい。

●これまでも様々な取り組みを行ってきたが、本年度は登下校時の安全管理の徹底、安全教育の推進、不審者等に関する情報共有の強化に重点を置いて取り組んでいる。今後とも、学校、家庭、地域、関係機関との連携を一層図り、子どもの安全確保に努めていきたい。(教育長)

●現在、山手と清音でつどいの広場事業が行われているが、非常に好評で、多数の参加がある。本来は中学校区に1カ所の実施予定であり、また場所的にも非常に偏りがあるが、新たな施設は財政的に難しいと思われる。津山市がアールネットという場所で試験的に実施した赤ちゃん広場事業を参考に、商業施設の一画を借りて乳幼児の触れ合い

剣持 堅吾

選挙公約について

●市民も期待している市長の選挙公約である「変える」とは、どこをどう変えるのか。少なくとも2年間は議会構成から見ても断行はできると考えるが、突っ走る考えか。

●大型事業を見直すと言っているが、新架橋事業が、財政を圧迫するとは思われない。凍結をするのか、工期延長をするのか。

●市民のためになるかならないかという考え方で職員の考え方を考えていきたい。この議会に残された任期の2年は、少しずつ変わっていく総社市であるべきだと思う。

●新架橋は、私が選挙を通じて見直すと言ってきた、それに多くの市民が賛同したということも大いなる一つの要因であると思うので、平成20年10月までにこの橋のあり方というものを皆さんと協議していきたい。また、市民が実際の市費